

ぎやらりー わ

NO.81

2018年1月号



♡花の村内散歩
ビオラ

編集・発行 NPO法人グループわ（水町 亮治）ホームページ <http://www.wa-net.jp>
〒651-1106 神戸市北区しあわせの村1番16号シルバーカレッジ内 TEL078-743-8101 FAX743-3830

広陵小学校 3年生103名とかがやきの森へ

8
回
目
の
環
境
体
験
学
習



里
山
和
楽
会

10月30日、台風の影響で1週間延期になった広陵小学校3年生対象の環境体験学習がおこなわれました。これは“かがやきの森”の里山保全取組をおこなっている里山和楽会グループが毎年実施している学習で、今年で8回目を迎えます。土壌生物や微生物の役割、植物の成長戦略、里山林管理体験と盛り沢山の内容で、子どもたちにも分かりやすく、皆の目もいきいきと輝いていました。➡詳細4頁（報告 浜田）



特 集 グループわ 20周年

81
号
の
内
容

20周年を迎えたグループ マジッククラブ、木工クラブ	2・3面
広陵小学校で環境体験学習	4面
戦争体験語り部、学習支援の集い	5面
もったいないシンポジウム	6-7面
グループわ1-3月イベント	6面
活動レポート	8-9面
カレッジだより	10面
新グループ紹介・兵庫区会体制	11面
グループわHPの見方	12面



ボランティアの
輪をひろげよう

グループわ設立20周年特集

グループわ は昨年の7月22日に設立20周年を迎えましたが、その一環としてグループ結成から20年以上活動を続けているグループの、特集記事を順次掲載したいと思います。

今回のぎゃらりーわ81号では、KSCマジッククラブと木工グループを紹介します。

KSCマジッククラブ【平成9年設立】

大震災の傷跡も生々しい平成9年に、空閑義郎先生(福3)と仲間数人で在校時に同好会を立ち上げ、蛍雪を重ねて20年の区切りを迎えました。

現在「不思議大好き人間！」70数名が集うグループに成長しました。これもひとえに共に過ごした会員各位と歴代役員の方々の皆様の努力の賜物と感謝と御礼を申し上げます。

20年変わらず、協調と発展を続けられたのは、

①出合いを大切にすること②習う・作る・覚える・演じる・喜んで頂く③マジックは言語を超え人間関係の潤滑油となる3点ですが、**組織の継続・発展のためには、マジック同好会(現役)が卒業後に入会することではないでしょうか！**



(寄稿)
KSCマジッククラブ 代表
森田明朗 (国8)

【定期例会】

毎月2回、第2・第4水曜日の13時から、しあわせの村・本館大会議室で開催しています。

皆さん老い盛りの中にもかかわらず遠路を毎回40名前後の会員が参加されます。

マジックの魅力は？ マジックです。

【ボランティア活動】

昨年は福祉施設などから、94回お招きを頂きました。厳しい現実であればこそ、非日常の夢を楽しんで頂けるよう頑張りたいと思います。



神戸市立友生支援学校にて



水の科学博物館にて

【秋の1泊研修会】

本年は淡路島『なぎさ荘』にて開催し、38名の方が参加されました。



【第15回オールKSCマジックの祭典】

本年は、兵庫県民会館ホールにて举行し、他のマジッククラブにはない独特の雰囲気とグループの出演で哄笑あり・失笑あり、300名を超える来場者で大変盛り上がりました。



第15回 マジックの祭典 (H29.11.5 兵庫県民会館)

木工グループ【平成7年設立】

平成7年の設立以来、20数年間ボランティア活動の継続と技能伝承に努めて来られました。

永年に亘って活動が継続されてきた極意は？

⇒人と組織の新陳代謝・融和・技能伝承が重要！

現在の会員数は、女性会員10名を含め、65名となっています。（学生会員は52名：内女性は12名）

グループわ の年間行事である、わいわいストリート・夏休み工作塾、また水の科学博物館・福祉施設訪問など、幅広く活動しています。

数か月前から部材の事前準備【別表参照】のため現役学生と一緒に頑張って頑張っています。

夏休み工作塾では予想以上の参加者で部材が足りなくなるなど、次年度からは事前予約申し込み制にせざるを得ない状況です。混雑回避と順番待ちのための区画整理が必要になっています。

また、現役学生（52名）の活動にはベテランの指導が不可欠で、ボランティアセンター活動発表会・学園祭等の作品製作・販売も一緒になって頑張っています。（寄稿 木工G代表 馬場偉夫:福16）



わいわいストリート

開催日	対象人員	スタッフ数
5月 5日	190人	21人



学園祭



夏休み工作塾

開催日	対象人員	スタッフ数
8月 6日	180人	26人

制作品名	仕様	準備数	組立部材数
昇り人形	10種類	100Set	800
モビール	5種類	100Set	300
車関係	トラック	30Set	240
	大型トラック	30Set	330
	ダンプカー	30Set	330
	消防車	30Set	390
	汽車	60Set	540
	カバ	30Set	270

作業場風景



堆肥(微生物観察)、植物(全般)、里山林管理作業を学ぶ

虫の働きを知ってチョット好きになったよ♡♡

10月30日(月)、環境部会・里山和楽会は、今年も北区の広陵小学校3年生103名を対象に環境体験学習をおこないました。これは、日頃里山和楽会が保全・再生活動をおこなっている“かがやきの森”を舞台に、土壌生物の働き、植物の成長戦略、里山林管理作業体験などを具体的に学ぶ企画で、子どもたちには知らないことのオンパレード。寒い寒い一日でしたが、子どもたちの目はいきいきと輝いていました。(※)かく言う編集担当者も生活環境コース出身ですが、生物多様性の重要性についてこんなに納得できたのは初めて。勉強になりました。ありがとうございました。(担当・浜田)

枯葉をフルってみたら？



たくさんの土壌生物がいるのにビックリ！！

子どもたちのアンケート結果より

植物も虫や動物も 循環しているのがスゴイ！

学習スケジュール

- 9:00 はじめの会
- 9:35 かがやきの森へ
(3組に分かれて学習)
- 体験学習1・堆肥(微生物観察)
- 2・植物(全般)
- 3・植物観察
- 4・里山林管理作業
(年輪観察)
- 13:30 教室に戻って授業
森林インストラクター・清水孝之氏
- 1・土壌生物の役割
- 2・植物の成長戦略
- 14:40 終わりの会

・きょうは動物の死体を食べたりして、虫が森の掃除をしたりするところがびっくりしました。私は虫が嫌いけどちょっと好きになりました。

・木の葉が落ちて積もっても、ダンゴ虫が食べてうんこして、微生物が食べてうんこして、それを木が水と一緒に吸って成長することが分かりました。いろんなことができて楽しかった。とくに木を伐るところが楽しかったです。

・植物は子孫を残すためにいろいろな方法を使っている。いろいろ

知らない植物があるので調べたりしたい。

- ・残念だったのは木を伐る時に一人だけはさみで枝を伐れなかった。
- ・木の中にカブトムシの幼虫が入っていると言っていたけど、きょうはいなかったのが残念です。

《子どもたちの反応》

★きょうの学習は

- ・楽しかった 86%
- ・ふつう 8%

★学習内容は

- ・よく分かった 31%
- ・だいたい分かった 60%
- ・あまり分からなかった 2%

「この指・・止～まれ！」で始まり11年

国の重要里山林に選ばれました

平成19年4月、生活環境13期十数名が「かがやきの森」整備再生を施設所長から依頼され、立ち上げました。全員「里山林整備再生」など無知識素人軍団で一から講師のレクチャー・現地実技学習。半年後に活動概要「ランドデザイン・会則(目的目標)・活動計画記録・活動マニュアル・マネジメントシステム・催事関与」など全員で指針を検討決議。

その後月4回年間約50回の里山林整備再生活動に入り、今年で11年目を迎えました。会員は「極々わずか

地球温暖化への寄与」「生物多様性」などを認識し継続活動。また3年前の平成27年、環境省指定「生物多様性重要里地里山全国500選」に認定。兵庫県内では24か所の一つで、会員の里山林活動の社会的認知となり、里山林活動の支えになっています。

さて、自然環境には植物の成長戦略活動があり凄まじい活力を見せます。これは地球温暖化阻止の大切な力です。当会は里山林整備再生に毎年新たな気持で取り組んでいます。自然で新鮮な環境の中での活動で、健康増進・気分転換の効果効用があ

里山和楽会
代表 道満俊徳



ります。どうぞ、いつでも、何方でも見学にきてください！

「里山和楽会の里山林整備」

- (1) 目的＝放置された当東地区里山林を整備・再生し、広く地域住民のいこいの場としての“心林”づくりを目指し、持続的な里山林保全活動を行うことを目的とする。
- (2) 目標＝景観としては「夏緑高林型(見通しが良く、山野草が咲く林内景観)」とし、生物多様性保護の場としての里山林を目標とする。また、合わせて里山林整備・再生をおして自然体験や環境保全の場とする。

グループわの会員で先の大戦（太平洋戦争）体験者6名が「語り部チーム」を編成して16年。毎年、小学校6年生と中学校2年生の社会科の補充授業として、出前授業をおこなっています。

その内容は、次の通り実体験を中心にしています。写真や絵、人形を使いビジュアル的に分かりやすい工夫をしています。

- ①神戸大空襲下、火の海を逃げ回り、肉親を失った実体験談
- ②飢えに苦しんだ、田舎での辛い集団疎開の体験談
- ③戦争の原因と結果、空襲の主演B29、焼夷弾、全国の空襲被害の解説
- ④生徒との質疑応答



質問を受ける渡辺さん

「教科書にない戦争の悲惨さを知り、戦争は絶対すべきでないと思った」「疎開で食べるものがなく、イナゴやカエルまで食べた聞いてビックリした」「今の平和な暮らしが当たり前でないことを知った」「きょう聴いたことを私たちも語り継がないといけないと思った」……語り部授業を受けた生徒からは、このような感想が返って

寄稿/学習支援委
語り部チーム
加藤 勇治



11月4日宮本小学校
「語り部」授業動画
(60分版)QRコード
or「グループわHP」
→「イベント動画」



課題Ⅱ いかにかに活動を継続できるか？

きます。その度に語り部授業の“やりがい”を覚えます。

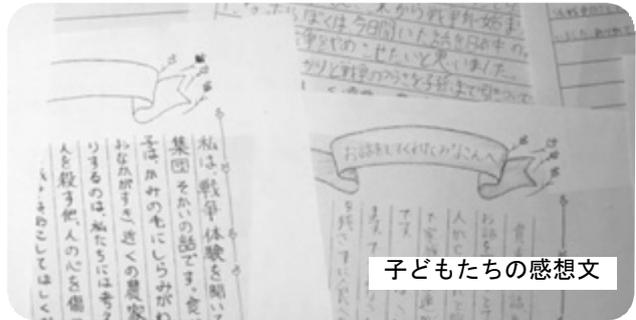
今後の課題

チームのメンバー6名の平均年齢は83歳。語り部活動を続けることが不可能になることも予想せざるを得ません。現在、喫緊の課題は「語り部授業のビデオ教材化とその活用PR」です。その具体化に向け、取り組みたいと思います。



昭和19.20年にはB29による無差別爆撃や学童集団疎開といった悲惨な戦争体験をした。

今から76年前の12月8日、日本は米国を中心とする連合国に宣戦布告し太平洋戦争に突入した。



子どもたちの感想文

＝秋の学習支援者の集いを開催＝

学習支援委員会委員長 岡本 紘一

発達障がいの特徴とその対処の仕方を学ぶために、毎年秋に「学習支援者の集い」を開いています。今年は12月15日にカレッジ学習室で開催し、カレッジの藤原リーダー、学習支援者、カレッジ現役生など約45名が参加しました。



水町理事長のあいさつと、学習支援担当の岡本から今回の内容の紹介の後に、竹田契一先生の「発達障がいの幼児児童生徒はどこでつまづくか」宝塚武庫川ロータリークラブでの講演会の動画を見て学習しました。

竹田契一先生は大阪教育大学名誉教授、大阪医科大学LDセンター顧問で、発達障がいの第一人者であり、発達障がいの特徴とその対処の仕方を、若い先生方の寸劇も含めて紹介されていました。

アスペルガー症候群、ADHD、LD（学習障がい）、自閉症などの様々な発達障がいの特徴を判りやすい説明と共に、その対処の仕方も寸劇での若い先生方の熱演により具体的で理解しやすいものでした。

この動画は全部で2時間30分と長く、この学習会ですべてを写すことが出来ませんでした。またこの日が学習支援日であることなどで参加できなかった支援登録者がいました。



そこで、この動画を自宅のパソコンを使用して学習することが出来ることから、学習支援者へどのようにしたら見る事が出来るかを連絡しました。

☆ 講演動画の見方

YouTube検索 → 「竹田契一先生LDセミナー」
or 「宝塚武庫川ロータリークラブ」
*) 講演9本、寸劇8本の動画に分割されています。

発達障がいの特徴、対応を動画で学ぶ

11月16日、神戸市シルバーカレッジが主催する“もったいない”シンポジウムがカレッジホールで開催されました。このシンポジウムは毎年環境問題等をテーマにおこなわれるもので、今年で8回目になります。

グループわも共催者に名を連ね、とくに今回は、グループわ環境部会の「チームたんすの肥やし」「フードドライブ」がパネリストとして参加しました。

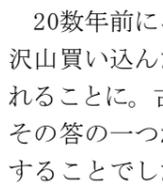
今回のテーマは“もったいない”。日本の食糧自給率が40%以下にもかかわらず、まだ食べられる食品が年間630万トンも捨てられている現実を学び、私たちにできることは何か?! 考えようという趣旨です。



パネラーのみなさん



今回のシンポジウムでは、パネリストの皆さんの活動内容やそこで感じられていること、活動上の課題等を話していただき、神戸の街でももったいない活動を広げていくうえで何が必要なのか、皆で考えていきたいと思えます。(コーディネーター 北尾 進氏)



20数年前にユニクロが近くにでき、嬉しくて沢山買い込んだのですが、すぐにタンスがあふれることに。古着を生かすにはどうすればいい? その答の一つが、チャリティーショップに寄付することでした。そして、グループで古着回収の取組みを始めました。(藤本明美氏)



高月先生のお話の通り、食品ロスが大問題です。各家庭で使い切れなかった食品を持ち寄り、まとめて地域の施設などに届ける活動を始めました。フードドライブです。KSCでも毎月、1-10日を回収期間として取り組んでいます。皆様のご協力をお願いします。(上利哲裕氏)

第1部 基調講演

「廃貴物」の意味は「もったいない」

講師・京エコロジーセンター館長 高月 紘氏

→次ページに講演要旨

第2部 パネルディスカッション

パネリスト

藤本明美氏「チームたんすの肥やし」代表

上利哲裕氏「フードドライブ」リーダー

谷平ゆかり氏「ポートピアグリーンチーム」代表

中村恵子氏「ゴミ減らし通信舎」世話人

橋本 司氏 神戸市環境局 環境政策部

資源循環政策課長

コーディネーター

北尾 進氏 神戸市シルバーカレッジ講師

グループわ 1月~3月のイベント

開催場所	開催日	グループ	連絡先
垂水区柏台老人会	1/ 5 (金)	一寸奉仕	柏台老人会 752-8186
きらくえん	1/ 5 (金)	わらい届け隊	きらくえん 747-3001
	1/17 (水)	SCハワイアンズ	
	2/ 2 (金)	楽遊クラブ銀雅	
	2/21 (水)	手話ソング同好会	
	3/ 2 (金)	コーラス・タルミ	
3/21 (水)	三輪車		
水の科学博物館	1/ 6 (土)	初釜/和庵	水の科学博物館 351-4488
透鹿園	1/21 (日)	マジッククラブ	透鹿園 961-2335
	2/18 (日)	楽遊クラブ銀雅	
しあわせの村体育館	3/18 (日)	UDフェア	こうべ市民福祉振興協会 743-8193



*)UDフェア=こうべユニバーサルデザインフェア:年齢、性、国籍、身体状況等の違いを越えて、互いに多様性を認め合い、全ての人が力を発揮して支え合うユニバーサル社会の実現に向け、ユニバーサルデザインの推進が課題。この考え方を伝え、成果発表し、交流するフェア。

第1部 基調講演 「廃貴物」の意味は「もったいない」 (要旨)

京エコロジーセンター館長 高月 紘氏



私は、“High Moon”というペンネームでマンガを描いてきましたが、漫画家だけで食べていくのは厳しいので、大学の先生をしながらマンガも描くということでやってきました。大学では、廃棄物の研究をしてきましたが、調べると、私たちは毎日の生活の中で貴いものを捨てているのではないか!これはもったいない!という意味で、廃棄物を廃貴と表現しマンガ連載してきました。

家庭ごみ細組成調査から

50世帯ほどの家庭ごみを細かく分類して重量(湿重量、乾重量)、容積を調べますと、台所ゴミでは発泡スチロール製トレイなど、容器包装材が目立ちます。重さ(湿重量)では2割強ですが、容積では台所ゴミ全体の6割を超えます。ごみ処理・運搬では容積がポイントですので、これは影響が大きい。

“賞味期限がごみ起源”

食材ゴミを食べ残しと調理クズに分類しますと、まだ食べられるのに捨てられているものが目立ちます。調理クズは4割なのに、食べ残しが6割を占めます。この中には、買ったままの状態の物が結構な割合で含まれています。もちろん調理するつもりで買って、冷蔵庫に入れている間に賞味期限が切れたのでやむなく廃棄という、もったいない話です。



※賞味:自れごみの中には賞味切れの食品が目立ちます

中食の増加が拍車

内食、中食、外食という言葉をご存知ですか。内食は家庭で調理して食べる、外食はレストランや食堂で食べる、中食というのは工場で作られたものをスーパーやコンビニで買って食べるというものです。この中食が増えています。



「もう食べられないよう〜」 High Moon

買って食べて包装材を捨てる。スーパーやコンビニで

高月先生の講演動画を見る→ネット検索「グループわ」→「イベント動画」

売れ残ったらそのまま捨てる。これはあまりにももったいないということで、豚の餌にでもできないかと考えますが、選り分けの時間やコストを考えると無理ということになっています。

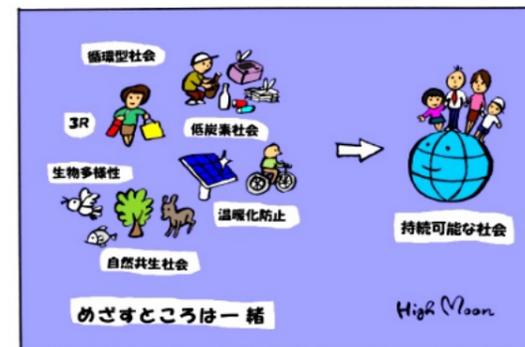
京都市のごみ減量取り組み

京都ではごみ減量のために、ごみ減量推進会議を設置して取り組んでいます。家庭用ごみ処理費用は、1袋約200円かかっており、ほとんど税金で処理していますが、一部有料化ということで、1袋当たり1円計算でゴミ袋を販売しています。30%袋が主流ですが、1枚30円です。京都市のH28年度のごみの量は、ピークのH12年度からほぼ半分に、劇的に減りました。

編集部注	・京都市ごみ総量	H12/81.5万トン→H28/41.7万トン 49%減
	・神戸市ごみ総量	H12/103.3万トン→H28/61.1万トン 40%減

ごみ排出を減らす! 2R型ライフスタイルへ

これまでではごみを再資源化しようとしてリサイクルに目が向いていましたが、今、その他の2R(リデュース、リユース)に目が向いています。ごみを出さないリデュース、捨てる前に再使用するリユースです。その推進のために、ゴミ袋有料化、レジ袋有料化、分別義務化、食品ロス削減などの取り組みがあります。



最後に、環境問題に関心をお持ちの皆さん、一緒に考え、行動していきましょう。

豊かなライフスタイルとは?
「物」持ちから「時間」持ちへ
シンプルライフ
持続可能な社会とは?

高月先生のマンガは、ネットで見るができます。
→ネット検索「ハイムーン工房」



活動レポート

【本部直轄活動】◎野鳥観察会

10月29日、台風22号が近づく悪天候の中、屋外活動センター「あおぞら」で、室内での野鳥観察会となりました。あいにくの天候にもかかわらず15人もの参加がありました。「野鳥と自然観察会」代表の堀池氏にお願いし、パワーポイントを使って、たくさんの野鳥の特徴（姿、鳴き声など）を学習できました。



◎グループわ「秋のハイキング」

行程：谷上駅～森林植物園～

トゥエンティクロス～新神戸駅

11月16日の当日は絶好のハイキング日和となりました。神鉄谷上駅に31名の仲間が集合し、広場で体操をした後、ゆっくりとハイキング道を歩き始めました。落葉を踏みしめ、川を渡り高度を上げるにつれて木々の色好きが増し、到着した森林植物園は紅葉真っ盛りでした。それぞれ陽だまりで昼食をとり、森林植物園散策組と新神戸を目指す組に分かれ、新神戸組はトゥエンティクロスを下り、河童橋を渡り市ヶ原で休憩の後、布引貯水池から新神戸駅に到着、苦しいのぼりもありましたが、皆様健脚でトラブルもなく全員元気で下山しました。



【環境部会】◎神戸びかびか隊

神戸マラソン沿道警備等のボランティア活動に参加

11月19日、会員105名がそれぞれ活動しました。また当びかびか隊から、ボランティアランナーとして20人に一人出場できるが、当日は4人が出場しました。写真は須磨17区担当のKSC20期26名と一般ボランティアの皆さんの活動の一部です。



【中央区会】◎会員交流 街中散策会の実施

中央区会は年2回春と秋に会員の親睦交流と健康を狙いに軽いハイキング、街中散策会を楽しんでいます。

今回は11月5日「須磨寺と須磨離宮公園」で計画実施しました。当日は快晴に恵まれJR須磨寺に集合14名が参加しました。

源



氏物語の光源氏の住居跡

と伝えられる「現光寺」須磨寺のお大師さんと網島天満宮の天神さんを結ぶ道として知られる「智慧の道」をブラ歩きしながら須磨寺へ、須磨寺では「源平ゆかりの古刹」と云われる所似の場所や宝物館を見学。須磨離宮公園では人気の欧風式庭園「噴水広場」や植物園を散策後昼食弁当を囲みました。参加された皆さんはほぼ満足されたことでしょう。

【西区会】◎柏原織田家ゆかりの城下町と

史跡生野銀山 バス旅行

11月1日大型バスに41名が乗車し、西神中央を8時30分に出発、山陽道、中国道、舞鶴道、北近畿道を通過して、丹波並木道中央公園を見学、次に織田家ゆかりの城下町と柏原の陣屋敷、民俗資料館等が1日の説明を聞きながら散策見学した。昼食はドライブイン夜久野でビール付きで豪華でした。海鮮せんべい店で休息した後、史跡生野銀山見学しました。帰りはビンゴゲームを楽しみながら、17時40分ごろ無事西神中央へ帰りました。



【垂水区会】

◎舞子から明石まで歩いていい汗かこう”

11月29日の小雨混じりの曇りでしたが、11名の参加で舞子駅を9時過ぎ出発しました。舞子駅前の”砲台跡”から六神社お参りし、その前の海岸から明石海峡大橋を望み、西国街道を西に行き、朝霧駅前を通り、明石市役所に到着、そして”魚の棚”で明石焼きを食べながら懇親、ぶらぶらして解散しました。歩きやすいコースでよかったです。



◎名谷すみれ苑の紅葉ドライブ

付き添いボランティア

台風21号で天候が心配されたが、10月23日から3日間晴天に恵まれ予定通りの付き添い支援活動を行いました。紅葉には少し早かったが、所々に紅葉が見られ、参加された方も楽し気であった。

◎神戸マラソン沿道クリーンアップ 大作戦

秋晴れの心地よい天候に垂水区約15名の方が舞子駅南側デッキに集合、垂水区役所の方の説明を聞いて、神戸マラソン沿道コースや舞子駅周辺を歩き、路上や生垣に捨てられた空き缶やたばこの吸い殻など清掃活動に汗を流しました。

【灘区会】◎青陽東養護学校サポートで、

子供たちから手作りの招待状

定例の青陽東養護学校サポートに行ったとき、子供たちから手作りの音楽会招待状をいただきました。とてもかわいいので、ご覧ください。



【北区会】◎親睦ウォーキング

「有馬温泉の歴史と源泉を巡る」

恒例行事となった「北区歴史の道」も第3回となりました。11月20日、秋も深まり、艶やかに色づいた紅葉を愛でながら、参加者32名が2班に分かれ、約2時間「有馬観光ボランティアガイドグループ」の方の案内で有馬温泉の歴史、名所と源泉を楽しく巡りました。瑞宝寺で解散後、各自銀泉金泉に入湯湯元坂でグルメ、土産店散策を各々楽しみました。



参加された多くの人から、「何度も来ている有馬温泉だが普段通らない細い道を巡り、これまで知らなかった有馬温泉を発見しました」との感想を頂きました。

【長田区会】◎バードウォッチング&

バーベキュー大会

11月13日のこれ以上ないという好天の日、13名が集まりました「野鳥と自然観察会」代表堀池氏の案内、説明を聞きながら「しあわせの村」村内をバードウォッチング、堂坊池で水鳥を観察後、ディキャンプ場でバーベキューで懇親会を楽しみました。



カレッジだより



新たな人生への展望を
ここから始まる
アクティブライフ

神戸市シルバーカレッジは、
高齢者の豊かな経験を活かして自らの可能性を拓き、
その成果を社会に還元することをめざして学びあう生涯学習の場です。

願書受付期間 平成30年1月29日(月)→2月9日(金)まで
開設コース・定員

コース	健康福祉 コース	国際交流・ 協力 コース	生活環境 コース	総合芸術コース			1学年 定員	
定員	100人	100人	100人	美術・工芸 専攻 35人	音楽文化 専攻 35人	園芸 専攻 35人	35人	440人

平成30年度 学生募集

入学資格

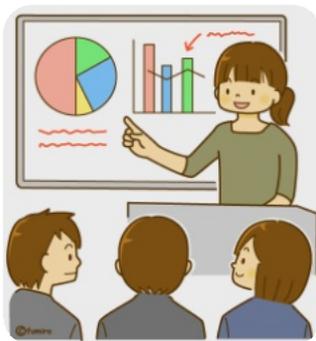
神戸市内に住所を有する57歳以上の方
(昭和36年4月1日以前に生まれた方)で通学可能な方
学歴、経歴は問いません。
※かって在籍したことのある方も出願可能!

【お問い合わせは】

神戸市シルバーカレッジ事務局
☎ 078-743-8100

【22期グループ学習発表会】 楽遊クラフ

29年度のグループ学習発表会は、11月27日(月)の食文化専攻をスタートに、2月28日の音楽文化専攻まで、約3ヶ月間にわたって行われます。



☆各コースの発表会日程は次の通りです。

- 健康福祉コース・・・12月14日(火)
- 国際交流・協力コース・・・12月11日(月)
- 生活環境コース・・・1月26日(金)
- 総合芸術コース
 - ・美術工芸専攻・・・2月14日(水)
 - ・音楽文化専攻・・・2月28日(水)
 - ・園芸専攻・・・2月2日(金)
 - ・食文化専攻・・・11月27日(月)

銭太鼓交流会開催される

11月18日(土)小雨模様の中、KSCカレッジホールで、恒例の第12回楽遊クラブ銭太鼓交流会が、6グループ・100名弱の皆さんが参加して開催されました。



グループからは水町理事長が来賓として挨拶されました。

淡路島をはじめ他地域の銭太鼓クラブや先輩・現役も含めて、それぞれのクラブの特色のある演技で盛大な交流会が開催されました。



中休みではオカリナの演奏で、懐かしい歌を全員で合唱するなど、会場を埋め尽くした皆さんに大変好評でした。(編集 広報:藤田健一)

神戸市社会福祉協議会より感謝状授与!

【折り紙グループ悠々】

社会福祉関係者が一堂に会して、平成29年度の社会福祉大会が9月13日神戸文化ホールで行われました。折り紙グループ悠々を代表して、「梶田みどり」(生3)さんが感謝状を授与されました。



梶田さんは、入学当初から「折り紙、折染めグループ」と活動していましたが、活動がいつまでも続けられるという願いを込めて「折り紙グループ悠々」と改名し、現在に至っています。

梶田さんは、日本折り紙協会公認の講師で専門誌にも作品が何度も紹介され、会員研修は月1回で、最近の例会は、今年の干支の犬の折り紙、絵馬の研修をしたそうです。

現在は会員13名で介護施設や北区会で月1回程度、折り紙教室を開き、単なる趣味の楽しさだけでなく、教育的な意義や機能回復のリハビリにも役立ちます。悠々の名の通り折り紙で、限りなく地域を明るくしていきたいと、意欲を燃やされています。(編集 広報:才上眞行)



新設グループの活動紹介

福祉部会『ひゅうまんの心』

～心を大切に人と人との出会いを求めて～

代表 島村千恵子

私達は人に寄り添うことで、人との関わりの中で生き、相手を思いやり相手の痛みを感じられる、そんな人間愛、心を大切に人と人との出会いを求め、ボランティア活動を続けていきたいと、3年生のグループ学習の10人がそのまま昨年の4月に“ひゅうまんの心”として、グループを立ち上げました。

昨年の秋からは、新たに同じコースの仲間も増え今は16名が頑張っています。

◆社会福祉法人神港園 しあわせの家

認知のある利用者さんと歌と踊りで時間を共有しています。週2回の練習を積み重ね2ヶ月に1回程度訪問しています(笑いヨガ、フラダンス、鳴子踊り、ハーモニカ、健康体操、ハンドベル等々)



◆北区淡河町にある、社会福祉法人フレンド

ワークステーションフレンド…毎週1回程度

有機農法を取り入れた畑作り、野菜の収穫、除草、を知的障がいの人達とやっています。

◆北区淡河町にある社会福祉法人上野丘さつき会

知的障がいの人達のイベントのお手伝いを年5回程度実施(学園祭、収穫祭、もちつき大会等々)

◎一人でも多くの仲間を募集しています。

誰かがやってくれるのを待っているあなたへ、自分たちが出来ることを、出来る範囲でやってみませんか?

【連絡先】

島村千恵子 090-1586-4929
e-mail gakuen@uenooka.jp

水の科学博物館:入場者

入館者の増員に、ご協力をお願いします。

4月	9,622人	10月	2,024人
5月	8,602人	11月	2,538人
6月	6,044人	12月	1,197人
7月	4,738人	1月	
8月	6,908人	2月	
9月	2,177人	3月	
上期合計	38,091人	下期合計	

兵庫区会ニュース

11月より新たな役員で頑張ります。

今後とも一層のご指導・ご支援を、宜しくお願い致します

会長:小椋 宗二(食21) 副会長:清水 克祐(福21)
会計:山本 侑子(生17) 委員:西山 久雄(園16)



【解散グループのお知らせ】

『チームたんすの肥やし』は、2018年3月末で古着の回収を廃止するとともに、チームを解散させていただきます。これまでのご支援・ご協力に、心より感謝申し上げます。

代表:藤本明美(生17)

編集後記

グループわの広報活動の役割と任務を再認識し、会員皆さんの活動の周知徹底に頑張っていきます。

(藤田健一)

ホームページの更なる充実に頑張ります、皆様方の情報提供を宜しくお願いします。

(才上眞行)

新年号ですので今年の夢を。〈わ〉の全グループと区会活動の動画紹介に挑戦!

(浜田哲夫)

グループわ ホームページへのご案内

①グループわ で検索



②クリック



③メニューボタン⇒開催案内が表示されます



④イベント動画をクリックした場合



スマートフォンからQRコードで検索出来ます。

